



げんきっこ通信



2022 年 3 月

エッコロ委員会
託児リーダー部会
NO. 3

組合員のみなさんこんにちは！託児リーダー部会です。

今年度も、生活クラブ生協大阪の託児活動では、新型コロナ感染対策（体調管理のチェックリスト・消毒・換気など）をしながら、託児を行ってきました。

7・8月にエッコロ委員会と共にハグカフェ、9月に託児スタッフ研修会し、1月には託児スタッフ交流会を4カ所で開催しました。交流会は、登録の託児スタッフはもちろんのこと組合員全員に案内をし、仲間を増やしていきたいと取り組みました。その結果、新たに5名が登録、託児スタッフの仲間が増えました！

交流会では、自己紹介からそれぞれの好きな消費材を紹介しました。その後、生活クラブの運営・組織の説明・たすけあい8原則の紹介。託児活動について、託児の理念「とも育ち」を共有しました。その後、2種類の手遊びをしてリフレッシュしました。そしてグループに分かれ、託児の現場で「泣く子ども」について、子ども・保護者・預かる託児スタッフの気持ちを中心にディスカッションしました。

各会場の交流会の様子を以下にお知らせします。



1/27（木）ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

参加者：10名（理事・託児リーダーを含む）

- ・託児スタッフによる組合員同士のたすけあいの活動は「生活クラブの活動には託児があります」ということをより深めていく機会の交流会となりました。色々な活動を通じて、盆踊り、お祭りなどを知らない世代に伝えていきたい。
- ・子どもに関わる経験が豊富なスタッフとのディスカッションでは、「泣いている子」と「人としての子ども」との関わり方について話し合いました。

『泣く子は泣く力がある子!!』託児で保護者と離れた時、子どもが泣くことは悪いことではない。悲しいから、不安だから、どうしていいのかわからないからなど。子どもと離れる時は、必ず迎えに来ること、一緒に頑張ろう!!と伝えてほしい。

子ども扱いを嫌がる子どももいるので、大人同士の付き合いのように話しかけたりすると距離を縮められることがある。ブツブツ独り言を言っている子どもの興味の種をスタッフ自身が子どもになったと想像し、さりげなく寄り添って理解する。スマホ画面を凝視すると猫背、視点が寄ってしまうことがあるらしい。

- ・平野ブロックから1名の新規スタッフ登録がありました。



♪「やさいのうた」の手遊びしています♪



🍅やさいのうた🍅

トマトはトントントン
キャベツはキャッキョッキョ
きゅうりはキュッキョッキョ
だいこんはコンコンコン

ピーマンはピーピーピー
かぼちゃはチャチャチャ
にんじんはニンニンニン
はくさいはハクショソソ

たまねぎエンエンエン
ごぼうはヒョーロヒョーロ
グリーピースはピースピースピー
もやしはもじゃもじゃもじゃ

1/25（火）大阪市立生涯学習センター 参加者：10名（託児リーダーを含む）

- ・委員や経験を積んだスタッフの参加でエコロ共済のたすけあいや「とも育ち」の話は、理解されてるなと感じました。消費材の食べ物だけではなくFECの「C」の活動、託児などエコロ共済のたすけあいの活動をもっと組合員に伝える必要があるとの意見がでて、心強く思いました。
- ・ディスカッションでは「泣く子ども」について話し合いました。「なんで泣いてるのか」子どもの気持ちを考えながらその子に合わせた接し方をする、「離れたら泣くんだ」ということを知る親もいる、子どもも親も経験を積むことで成長するし、スタッフはその過程を見守ることができる、など意見交換できました。

- ・門真ブロックから参加の方2名の新規スタッフ登録がありました！



1/23（日）池田中央公民館 参加者：6名（理事・託児リーダーを含む）

コロナの関係で、参加人数が少なかったのですが、有意義な交流会ができました。2人とも子どもが小さい頃に託児を利用した経験があり、とても良い制度なのでお手伝いしたい、とスタッフに登録されていました。「とも育ち」の事も十分理解されていたので、現場の話に重点をおきました。泣く事に関しては、お母さんと離れて、寂しく、不安なのは、当たり前で、30分泣いても、大丈夫。子どもも成長していくし、友達もできるし、と心強い話し合いができました。新聞を丸めたボール、ビニール袋を膨らませた風船で遊ぶ事ができる、と聞いて目から鱗でした。



1人は、託児未経験の方でしたが、早速次回の託児に入る予定です。



1/29（土）枚方市 岡本町会館 参加者：13名（託児リーダーを含む）

今回、子育てひろば「ひらひら」が子育て支援活動を行っている岡本町会館をスタッフ交流会の場所を選びました。初めて交流会に参加した方から、活動内容もわかり、手遊び、子どもとの接し方、保護者とのかかわり方を託児スタッフの経験を通して聞くことができたので参考になりました。保護者と託児スタッフのコミュニケーションが大切なこと。そこから信頼関係ができること。「泣く子ども」とのかかわり方についても泣く子どもには、泣く力がある。それは、素晴らしいことと子どもを受けとめることができたらいいいね、と前向きな声も聞けました。ベテランの託児スタッフからも、交流会で日頃の託児の心構えを改めて振り返ることができました、と意見がありました。託児の様子や、困ったことなどを話す機会をもつことの大切さを実感しました。

新規託児スタッフ登録が2名あったことも嬉しいことでした。

託児スタッフ募集しています

生活クラブ生協大阪には、小さいお子さんがいる組合員が地区の企画などに安心して参加できるように託児システムがあります。託児活動に協力いただける方は、ご連絡ください。

〈問い合わせ先〉

茨木本部 組織運営課 072-641-5547

※とも育ちとは「子ども・保護者・関わる大人たち」それぞれが学び合い、ともに成長しあう生活クラブ生協大阪の子育て支援方針の理念です。

